

五条橋は初は松原通にあり、則いにしへの五条通なり。秀吉公の時此所にうつす、故に五条橋通といふ、実は六条坊門なり。欄干には紫銅擬宝珠左右に十六本ありて、北の方西より四ツ目に橋の銘あり。■陽五条石橋正保二年乙酉十一月吉日。

奉行

芦浦観音寺 舜興

小川藤左衛門尉正長

此橋上の半より東に向へば、洛東の勝地木の間くに顕れて平安の佳景こゝに止る。

蒲団着て寝たるすがたやひがし山

嵐

雪